

報道関係者 各位

校内教育支援ルームを中学校1校と小学校全校に設置

【概要】高石市では、すべての児童生徒にとって安全安心な学校づくりを行うにあたり、不登校児童生徒への支援策の一つである「校内教育支援ルーム」がこれまで小学校1校、中学校1校でしたが、令和7年度から中学校1校と小学校全校に拡大しました。

「新規不登校児童生徒数の減少」、「校内外における関係機関、相談・指導を受けていない児童生徒数の減少」、「長期欠席児童生徒の状況改善」等を目標とし、「校内教育支援ルーム」を児童生徒が相談や学習支援を受けることができる、安心して過ごせる居場所として活用したり、ICTを活用した個別学習やオンライン授業を実施する学びの場として活用したりする等、校内教育支援員が学級担任や保護者と連携した取組みを進めていきます。

また、専門家（SC・SSW）、警察等との連携を行い、チーム“学校”として、様々な不登校児童生徒のニーズに応えられるよう、誰もが安心して学べる魅力ある学校づくりをめざしてまいります。

教室内では、児童生徒がリラックスできる環境づくりをしています。このスペースでは、ゲームをしたり、談話をしたりしています。



パーテーションを使用する等、落ち着けるプライベート空間を確保する工夫をしています。